
Micro Focus Enterprise Analyzer チュートリアル

インストールガイド

1. はじめに

Enterprise Analyzer は、巨大で複雑なメインフレームアプリケーションを正確に理解するための情報を提供する製品です。また、メインフレームアプリケーションの保守・開発に従事するエンジニアが高品質で生産性の高い作業を行うことをさまざまな角度から支援します。Enterprise Analyzer は、クライアント・サーバー形態でのグループ利用も可能なアーキテクチャを採用しており、複数の開発者が共通の知識ベースを共有しながらトータルな生産性・品質向上を実現しています。本チュートリアルではスタンドアロン構成をとった、一台で単独の PC にインストールされた環境を利用します。これによって製品の提供する機能の詳細を短時間に習得することが可能となります。

2. 環境の必須・推奨条件

1) インストール対象製品

Micro Focus Enterprise Analyzer 4.0

2) ハードウェア

- ① CPU : 3.0 GHz プロセッサ以上
- ② 物理メモリ : 3 GB RAM 以上
- ③ 仮想メモリ : 1 から 3 GB
- ④ HDD 容量 : 使用するソフトウェアオプションなどによっても変動します。
 - ワークスペース = 対象ソースコード容量の 40 倍程度
例) 100 MB のソースコード × 40 = 4 GB
 - Enterprise Analyzer = 200 MB 以上
 - データベースクライアント = 200 MB 以上

3) ソフトウェア

- Operating System :
- サポート OS の最新情報は下記の URL から参照してください。
<https://supportline.microfocus.com/prodavail.aspx>
本文章作成時点でサポートしている OS は下記の通りです。
 - Windows Server 2008 (32-bit and 64-bit)
 - Windows Server 2012 (64-bit)
 - Windows Server 2016 (64-bit)

- Windows 7 (32-bit and 64-bit)
- Windows 8 および 8.1 (32-bit and 64-bit)
- Windows 10 (32-bit and 64-bit)

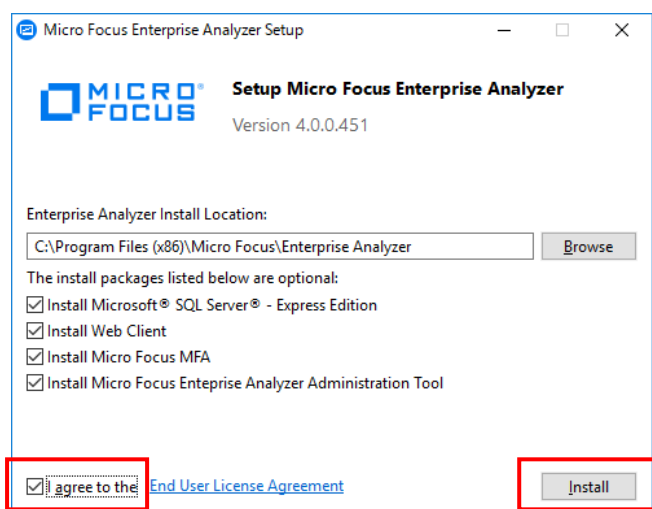
- データベースクライアント
 - 製品にはワークスペースを管理するために SQL Server 2014 Express Edition が同梱されており、10 GB までの制限内で使用することができます。また、この管理を Oracle, DB2, SQL Server Professional 以上で行うことも可能です。
 - Oracle, DB2 はデータベースインスタンスごとに構成済みの ODBC データソース名 (DSN) を使用します。
(.NET 対応済みであること。)
 - Oracle クライアントの要件は以下の通りです。
 - ✓ Windows Server 2008 = Oracle 10g
 - ✓ Windows Server 2008 Fix Pack3 = Oracle 11g
 - ✓ Windows 7 = Oracle 11g

- その他のオプション
 - Internet Explorer 6.0 以降
 - ✓ HTML レポートを参照する際に使用します。
 - Microsoft Office
 - ✓ レポートを Microsoft Office ファイル形式へ出力する際に使用します。
 - Microsoft Visio
 - ✓ Microsoft Visio ファイル形式 (.VSD) へ出力する際に使用します。
 - ✓ XML ベースの VDX 形式ファイルを使用する場合は Visio は必要ありません。

3. Enterprise Analyzer のインストール

インストール時には一時的にユーザアカウント制御（UAC）を無効にします。

- 1) 製品インストールファイルである [EnterpriseAnalyzer40.exe] を右クリックし、[管理者として実行] を選択します。
- 2) セットアップ ウィンドウが表示されます。



製品に同梱されているアプリケーションは必要に応じてインストールしてください。

本チュートリアルでは製品に同梱されている SQL Server Express を使用して製品で利用するワークスペースを管理するため、下記 3 つを選択後 [I agree to the End User License Agreement] のチェックをオンにして [Install] ボタンをクリックします。

既にインストール済みのデータベースを利用する際は ① のチェックを外し、[Installation Guide] に沿って、それぞれのデータベース設定と接続設定を行ってください。

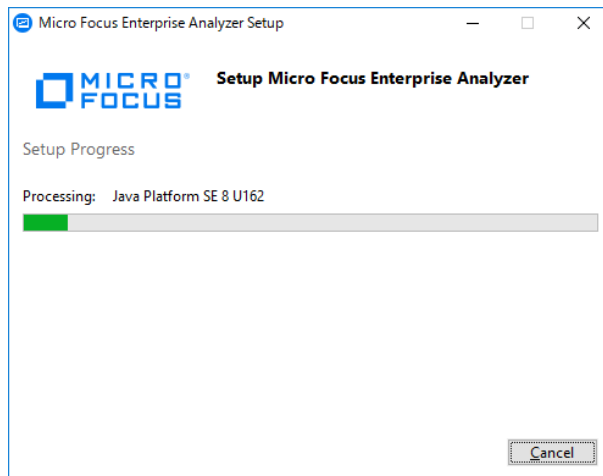
① SQL Server Express Edition

注意 ワークスペース作成時にアクセス権限が求められます。インストールユーザーには適切な権限が設定されるため、まずはインストールユーザーでワークスペースの作成を行ってください。権限詳細については SQL Server Express のマニュアルを参照してください。

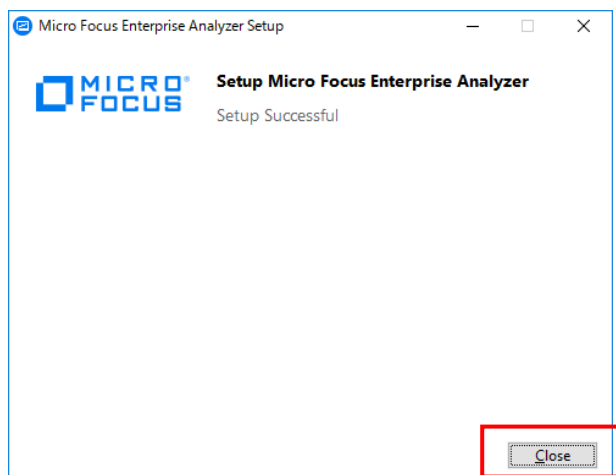
② Micro Focus MFA

③ Micro Focus Enterprise Analyzer Administration Tool

- 3) インストールが進行しますので、しばらく待ちます。

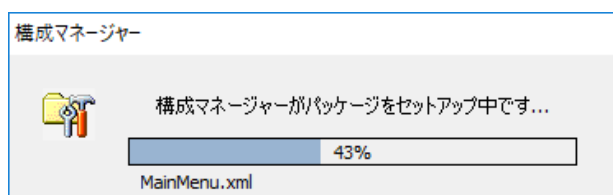
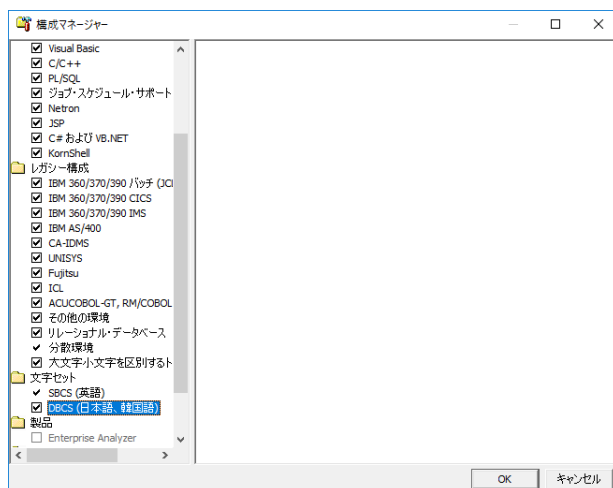


- 4) セットアップ完了ウィンドウが表示されたら [Close] ボタンをクリックします。



- 5) Enterprise Analyzer Administration ウィンドウと構成マネージャーウィンドウが表示されます。構成マネージャーウィンドウで使用する言語や構成、文字セット項目のチェックをオンにして [OK] ボタンをクリックします。

注意) [レガシー構成] の [Fujitsu] を使用する際は、先に [文字セット] > [DBCS] のチェックをオンにすると指定可能になります。



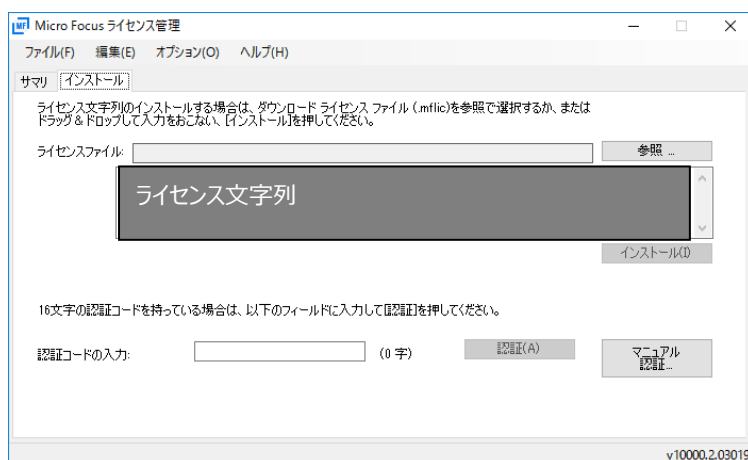
4. ライセンスの投入

入手済のライセンスを投入します。

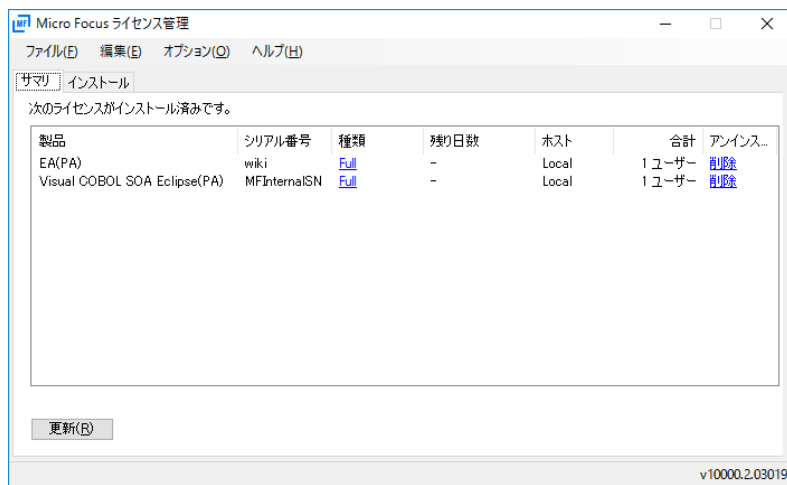
- 1) アプリメニューから [ライセンス管理システム] を起動します。



- 2) ライセンス管理ウィンドウの [インストール] タブへ移動し、入手済のライセンス文字列またはファイルを指定後 [インストール] ボタンをクリックします。



- 3) 正常に認証されると「ライセンスが追加されました」とメッセージが表示されますので、「サマリ」タブへ移動します。
- 4) 「サマリ」タブには認証されたライセンスが表示されます。



5. HotFix の適用

製品の改修を含む HotFix を入手した際には下記の手順で適用します。

- 1) 入手した exe ファイルを右クリックして「管理者として実行」を選択します。
- 2) セットアップウィンドウが表示されますので、「インストール」ボタンをクリックします。



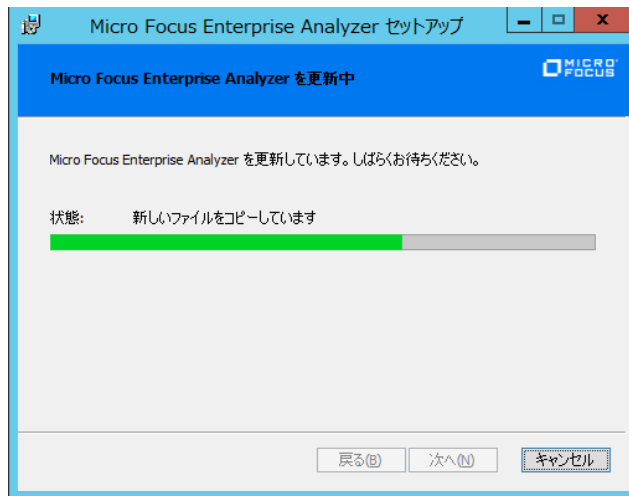
- 3) 続行するために、[次へ] ボタンをクリックします。



- 4) [更新] ボタンをクリックします。



- 5) 更新中ウィンドウが表示されます。



- 6) 完了しましたら [完了] ボタンをクリックします。

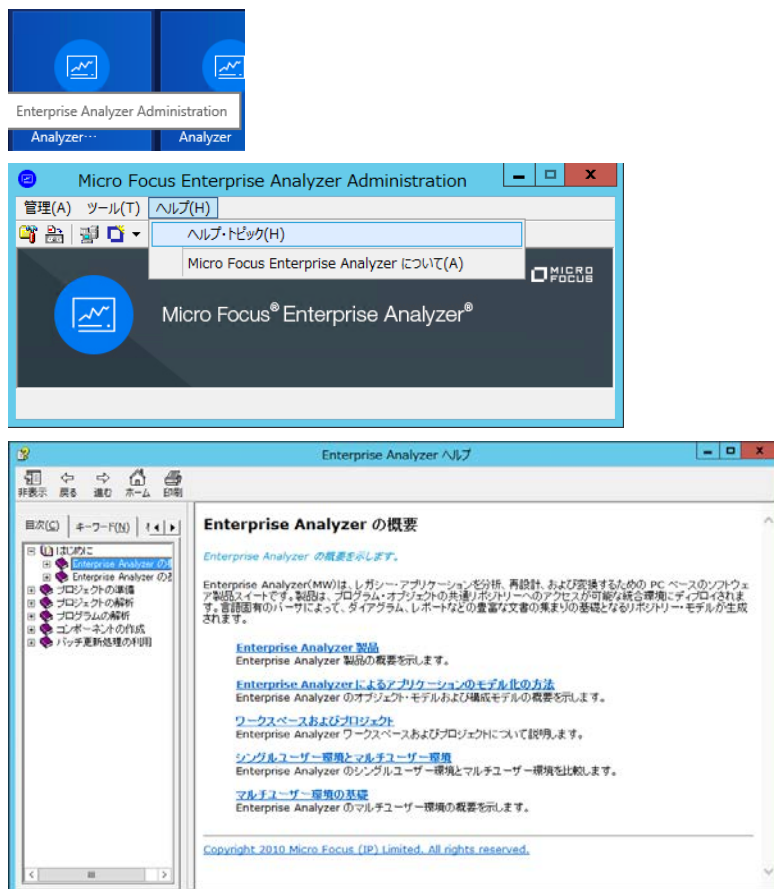


- 7) 構成マネージャーが起動されたら、前項と同様の設定を行ってください。

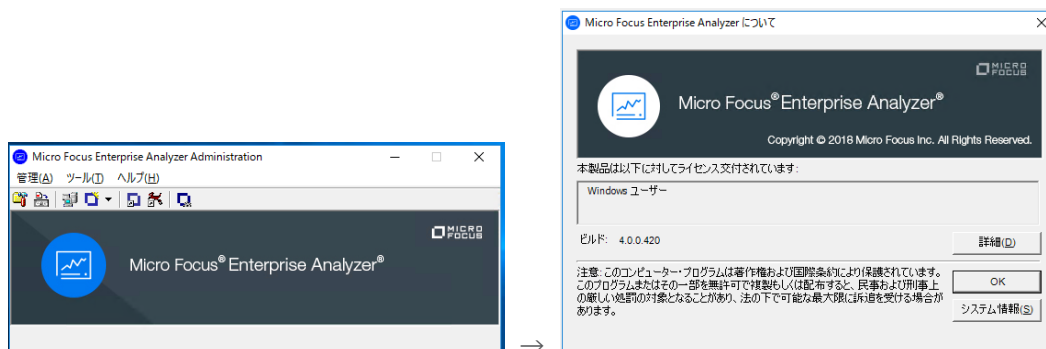
6. インストールガイドの詳細

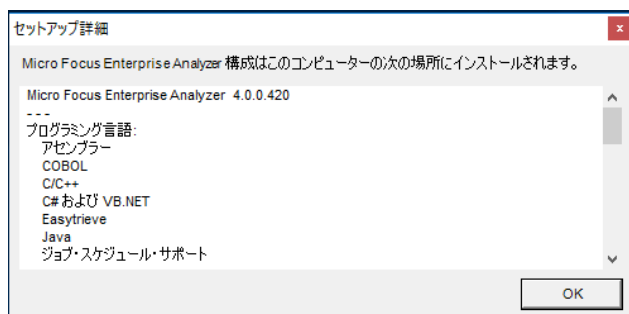
- 1) インストールに関する詳細は製品に同梱されている [Installing Enterprise Analyzer.pdf] をご参照ください。

- 2) 製品ヘルプは [Enterprise Analyzer Administration] を起動して [ヘルプ] ツリーメニューから [ヘルプ・トピック] を表示してください。



- 3) インストールされているバージョンは [Enterprise Analyzer Administration] を起動して [ヘルプ] ツリーメニューから [Micro Focus Enterprise Analyzer について] を選択後 [詳細] ボタンをクリックして確認してください。





WHAT'S NEXT

- Enterprise Analyzer : 利用ガイド
- 本チュートリアルで学習した詳細については製品マニュアルをご参照ください。